

発行：青森市議会（青森市中央一丁目 22-5 TEL：017-734-5743） 編集：議会広報委員会



< 改築工事契約の締結議案が可決された金沢小学校校舎のパース >  
～屋上には太陽光発電設備が設置される～

## 金沢小学校校舎改築工事契約の締結など42件を可決 本市初の政策型議員提案条例を制定

平成24年第2回定例会は5月30日から6月26日までの28日間の会期で開かれ、金沢小学校校舎改築工事に係る契約の締結や本市初の政策型議員提案条例であります中小企業振興基本条例の制定など42件が可決・承認・同意・採択されました。（審議結果は11頁に掲載。）

また、市政全般に関する一般質問は、5日間にわたり29人の議員が行いました。（うち一問

一答方式12人。）

なお、6月8日、海老名鉄芳議員の一般質問中の発言に関し、同議員に対する懲罰の動議が提出されました。これにより懲罰特別委員会が設置されました。6月13日の同委員会では、当該案件は継続審査すべきものと決定され、6月26日の本会議でこれが了承されました。

### 主な内容

可決された  
主な議案

P2

議案質疑  
総括質疑

P2

一般質問

P3～  
P6

予算特別委員会

P7～  
P9

議員提出議案

P9～  
P10

議会を傍聴して  
トピックス

P10

議案・請願・  
陳情審議結果

P11

委員会の活動

P12

### 可決された主な議案

本定例会で市長から提案され、可決された主な議案をお知らせします。(予算・人事案件を除く。)

○青森市自治基本条例検討委員会  
条例の制定について

自治基本条例検討委員会の設置、組織及び運営について必要な事項を定めるため制定するもの。

○青森市公共サービス外部化監理委員会  
委員会条例の制定について

公共サービス外部化監理委員会の設置、組織及び運営について必要な事項を定めるため制定するもの。

○青森操車場跡地利用計画審議会  
条例の制定について

青森操車場跡地利用計画審議会の設置、組織及び運営について必要な事項を定めるため制定するもの。

○青森競輪経営企画委員会条例の制定について

青森競輪経営企画委員会の設置、組織及び運営について必要な事項を定めるため制定するもの。

○契約の締結について(青森市立金沢小学校校舎改築工事)

鉄筋コンクリート造 3階建  
(契約金額 12億5千790万円)

○財産の取得について(教育用情報処理機器の購入(青森地区))

青森地区の小学校の授業で使用するパソコン等を更新するため取得するもの。  
(契約金額 6千77万5千円)

○公の施設の指定管理者の指定について(青森市浪岡交流センター)

指定管理者となる団体  
特定非営利活動法人ソーシャル・キャピタル・サービス青森



〈浪岡交流センター「あびねす」〉

### 議案質疑

開会日の本会議において、八甲田丸への青函ワールド移設経費を計上した平成24年度一般会計補正予算及び平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算が審議され、いずれも可決されました。以

下は、国民健康保険事業特別会計補正予算に関する質疑応答をまとめたものです。(※青函ワールドについては、用語解説を9ページに、写真を12ページに掲載しています。)

公明党 赤木 長義

問 国民健康保険事業特別会計の現状に対する認識を示せ。また、国庫支出金の減額措置相当額については、一般会計からの繰り入れをするべきではないか。

答 同会計の現状は極めて厳しいと認識している。一般会計からの繰り入れも選択肢の一つだが、これも市民の負担である。今後の対応は現時点では白紙だが、国民健康保険税の引き上げ、一般会計からの繰り入れ、健康づくりの推進の選択肢を含め、国保税や市民負担のあるべき姿を検討していく。

日本共産党 館田 瑠美子

問 国民健康保険事業特別会計において、当該年度の赤字分に翌年度の歳入を繰り上げて充用する「繰上充用」を繰り返し行うことは、国民健康保険税の引き上げに つながりかねないことから、一般会計からの繰り入れをふやすべきではないか。

答 過去の赤字決算であった時期

には、税率改正等の税の見直しとあわせ、一般会計からの繰り入れもしている。今後の対応は、平成24・25年度の収支状況をも見きわめながら検討を進めていく。

### 総括質疑

総括質疑は、3人の議員が延べ5議案に対し行いました。その中から、一議員につき一項目を取り上げ質疑及び答弁の要旨を掲載します。

市政会 小倉 尚裕

問 浪岡交流センター「あびねす」の指定管理者の指定について、市が地元団体との橋渡しの役割を積極的に担うとのことだが、これは指定管理者候補者と地元団体との連携が難しいことを市が認めたということか。

答 同施設は浪岡地域の交流拠点であり、関係団体等が多岐にわたることから、円滑な業務の引き継ぎのため市が積極的に関わるものである。よって、指定管理者候補者選定委員会の評価に不備があったため地元との連携に市の関わりが必要になったものではない。

公明党 赤木 長義

問 一般会計補正予算の社会福祉施設整備費補助金に、先進的事業として国へ提案した「高齢者と障害者が共同生活する居住空間の創設」などのための施設整備に対する補助金を措置することだが、補助対象事業の内容を示せ。

答 高齢者と障害者がともに居住し、互いに自立した日常生活等を営みながら、相互に協力した共同生活を送る共同空間の創設、地域住民との関わりを築き情報発信の場となるコミュニティサロンの開設のほか、アート活動を楽しむ場も提供されることとなっている。

無所属 奈良岡 隆

問 自治基本条例は、あくまで平成24年度中の議会上程を目指すのか。それとも議会での議論を優先させるのか。

答 平成24年度中に上程したいとの思いはあるが、今回提案している自治基本条例検討委員会の設置など必要な手続等をしつかり踏んで進めなければならぬことか。これにはこだわらない。市民も議会も市も誇れるような条例をつくるために、しっかりと議論を交わしながら拙速とならないよう進めていきたい。



# 一般質問

数多くの質問項目の中から一議員につき一項目を取り上げ、質問及び答弁の要旨を掲載しています。

## 除排雪体制の見直しについて

日本共産党 葛西 育弘

**問** 除排雪業者へのヒアリングに対し、今後の契約形態について出来高払いを導入したほうがよいと回答した業者は49%であった。これを踏まえ、出来高払いの導入を前提とした除排雪体制の見直しを行うべきと思うがどうか。

**答** 出来高払いの契約形態を望む声が多いことは、ヒアリングの結果でも明らかである。しかし、これを導入するに当たっては、予算面も含めさまざまな課題が考えられることから、現在それらの検証を行っているところである。

## 融雪歩道の課題について

市政会 館山 善也

**問** 融雪歩道の課題を示せ。  
**答** 整備に当たった課題は、事

者対応による補修は418件実施しており、補修件数としては例年どおりの作業ペースとなっている。

業費が多額になるため、電線類地中化事業等の国の補助事業を活用する関係上、幅員が4から5メートル程度の歩道に限定されることである。整備後の大きな課題はないものの、交差点部分において、融雪された歩道と融雪されていない車道や横断歩道との段差が生じ、歩行者の通行に影響を及ぼす状況も見られることから、当該箇所については除排雪の徹底により、歩行者の安全確保に努めていきたい。

## 雪解け後の道路補修について

自由民主党 山本 治男

**問** 雪解け後の道路の補修は、例年同様のペースで実施されているか。

**答** 道路の穴埋め補修は、小規模なものは市の道路パトロールにより行い、比較的規模の大きいものは業者対応としており、いずれも雪解け後、速やかに実施することとしている。6月8日現在、市のパトロールによる補修は703件、業



〈新青森駅周辺の一般保留地〉

## 新青森駅周辺の一般保留地について

市政会 木戸 喜美男

**問** 新青森駅周辺の一般保留地にスマートコミュニティ的な住宅を誘致・建設できないか。

**答** 同保留地の販売は、民間の資本力、企画力などを導入するため事業提案方式により行っているが、一戸建て住宅が建設できない等の用途地域や地区計画の制限がある。市では、当該提案のスマートコミュニティや他都市の事例等も参考にしながら、あらゆる可能性を考慮した上で事業提案への対応や方策を検討し、一般保留地の

販売・PRに努めていく。

※スマートコミュニティ：情報技術を活用した電力網（スマートグリッド）、エネルギーを有効利用するシステム、地域の交通システムなどが一体的に整備され、最適に管理される環境配慮型の地域のこと。現在、北九州市などが事業を進めている。

## 弘前大学キャンパスの誘致について

市政会 小倉 尚裕

**問** 弘前大学北日本新エネルギー研究所を核にして、石江地区保留地に同大学の青森キャンパスを誘致すべきと思うがどうか。

**答** 石江地区保留地への同大学の誘致は、さまざまな分野に波及効果があり非常に関心を持つところだが、土地代を市が負担しなければならぬ等さまざまな課題がある。同研究所は現在松原地区の旧市民図書館にあり、ここを中心に大学院コース設置に向けた取り組みをしていくこととしているので、市としても同大学と連携を密にし、取り組んでいきたい。

## 震災瓦れきの受け入れについて

市民クラブ 竹山 美虎

**問** 市は、民間事業者へ震災瓦れき受け入れを要請すべきだったと思うが、今後市の対応を決定した後、要請していくのか。

**答** 民間で焼却処理したのも最終的には市の最終処分場へ搬入されるため、市は同処分場における安全基準等をしっかり見きわめる必要がある。仮に民間事業者に要請するとすれば、安全性や国の対応を見きわめた上で行うことになるが、現時点では明言はできない。しかし、民間施設の状況や他の施設の動向は情報収集していく必要があると考えている。

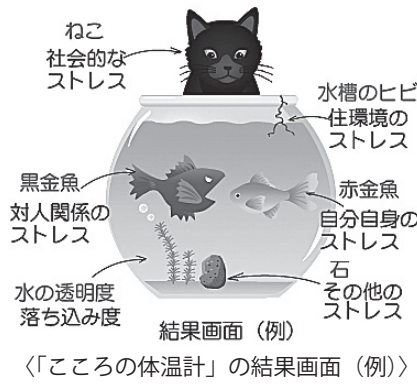
## 合併処理浄化槽の補助制度拡充について

市民クラブ 秋村 光男

**問** 合併処理浄化槽の設置整備の促進を図るため、市として補助制度を拡充すべきではないか。

**答** 市では現在、国の指導に基づき本市の汚水処理施設整備構想の見直しを進めており、平成25年度中に作業を完了させたいと考えて

いる。合併処理浄化槽については汚水処理手法の一つとして、その有効性、必要性を認識していることから、当該補助制度のあり方についても、同構想の見直し作業の中で総合的に判断していきたい。



### 自殺予防対策について

公明党 渡部 伸広

**問** 市の自殺予防対策を示せ。

**答** これまで精神保健福祉士等による相談支援、健康教室等によるうつ病予防の普及啓発、保健師による電話や窓口での相談、自殺予防パンフレットの每户配布、悩んでいる人に気づき、声をかけ、必要な支援につなげ、見守る「ゲートキーパー」養成研修会等を行ってきた。今年度は、新たにインターネット上で気軽に心の健康状

態をチェックできる「こころの体温計」を導入したほか、自殺予防カレンダーの每户配布等を行い、対策の充実に努めていく。

### ポリオ不活化ワクチンについて

公明党 柴田 久子

**問** 9月から定期接種が導入されるポリオ不活化ワクチンの供給量の確保と接種対象者への周知について示せ。

**答** 国によると同ワクチンは、平成24年度内に希望者全員が接種できる量が供給される予定とのことだが、市としても必要量の確保に十分留意していく。対象者への周知については、リーフレットの医療機関などへの掲示依頼及び4カ月児健康診査やポリオ予防接種会場での配付、市ホームページへの情報の掲載により周知していく。

### 懲戒処分について

市民クラブ 木下 靖

**問** 職員の懲戒処分の公表に当たり、個々の事案について当該処分に至った根拠を明示すべきと思う

がどうか。

**答** 懲戒処分の量定決定に当たっては「職員の懲戒処分標準基準」の運用の明確化を図るとともに、重大事案等においては、処分を公表する際の説明において、同基準の該当項目や量定の判断理由等を明らかにしてきた。今後は無用な誤解等を招かないよう、公表文書に量定の判断理由等を可能な範囲で記載していきたい。

### 原発の再稼働について

日本共産党 山脇 智

**問** 政府は原発の再稼働を計画しているが、青森市長として反対すべきではないか。見解を示せ。

**答** 福島第一原発事故の原因究明や検証が不完全のまま再稼働を認めることはできない。十分な対策をとらずに原発を再稼働することは東日本大震災の教訓と反省を生かさず、国民の原子力行政に対する不信、不安を増幅させるだけではなく、政治や行政そのものへの信頼、期待を損ねることになるため、現時点での再稼働はあり得ないものと考えている。

### 「脱原発をめざす首長会議」について

日本共産党 村川 みどり

**問** 市長は「脱原発をめざす首長会議」に加盟する考えはないか。

**答** 原発の新規増設を認めず、原則40年運転で廃炉にする国の方針と当該首長会議の方向性とは同じであり、国と地方自治体が同じ方向性を持つて互いに協力し合うことは極めて重要である。首長同士が情報共有、交流、連携等をし、再生可能なエネルギー政策とともに、自立した地域づくりを進めることは、必要かつ有意義と考えることから、今後同会議に加入したいと考える。

### 危険な空き家の解消について

日本共産党 館田 瑠美子

**問** 老朽化した危険な空き家の解消をどのように進めていくのか。

**答** 市はこれまで、氏名公表や代執行などを盛り込んだ空き家条例を制定した自治体の状況や、国の放置空き家の有効活用等に関する支援制度等の情報収集に努めてきた。これらを踏まえ、空き家条例



〈施工に係る技術的な指導・監督を行う水道部職員 (左側)〉

### 水道部職員の技術継承等について

市政会 里村 誠悦

**問** 水道事業の技術継承等の観点から、水道部職員の異動には、より一層配慮が必要ではないか。

**答** 水道部を含む各機関には異動対象者内申書を提出してもらい、その要望に可能な限り配慮している。また、水道部では、個々の技術職員の能力・適性を把握し、どのような研修が効果的かを検証しながら、実施している。今



後も、人事担当部局と水道部との意見交換、連携を行い、一定の経年数のある技術職員の確保や技術の継承等に努めていく。

### 障害者雇用につながる公共調達について

公明党 赤木 長義

**問** 障害者雇用が誘発される公共調達の仕組みに係る現在の検討状況を示せ。

**答** 現在、市が行う物品等の調達において、市内の障害者の雇用の促進及び福祉的就労の安定を図ることを目的に、障害者雇用促進企業及び障害者支援施設等から優先して調達を行う制度の詳細な設計を行っている。準備が整い次第、制度要綱を制定し、事業者への周知等を経て、本年10月以降の物品等の調達案件に適用することを目的に作業を進めていきたい。

### 消防車両の更新について

市民党・市民の会 斎藤 憲雄

**問** 消防車両更新の現状と今後の更新についての考えを示せ。

**答** 消防事務組合では本部及び市

内各署に75台、市消防団では106台の消防車両を配備しているが、20年以上経過している車両もある。車両の更新は経過年数のみならず、修理費用、機械的な能力の低下などを総合的に判断し順次行っているが、さきの震災を踏まえ、市が消防車両の早期更新の方針を示したことから、今後は関係部局と積極的に協議し、できるだけ早く更新できるよう努めていく。

### 消防職員の防火衣の整備状況について

市民党・市民の会 藤田 誠

**問** 消防職員の防火衣の整備状況を示せ。

**答** 平成21年度に防火衣等検討委員会を組織し、導入する防火衣の性能やデザイン等を検討し、これをもとに平成22年度から4カ年計画で全職員に配備することとした。現在整備中であり、今年度中におおむね7割の職員に配備される予定である。また、完全移行後は、日々の点検等に基づき、破損、劣化等があれば適切に更新していきたい。

### 相馬町町会等の活動「やろえ」について

市民クラブ 工藤 健

**問** 相馬町町会等は、高齢者等の見守りなどを行う「やさえ」という活動を行っているが、市としてどのように評価しているか。

**答** 「やさえ」の活動は、地域の課題を、地域住民みずから解決していこうという、今まさに求められている共助機能が発揮された取り組みであり、地域を元気に、そして安全・安心にする地域コミュニティ活動そのものである。市としても、財政的な面も含め、さまざまな場面で、この活動と一緒に取り組んでいきたい。

### 中小企業支援策について

自由民主党 中田 靖人

**問** 本市が現在打ち出している中小企業支援策を示せ。

**答** 市では、地域資源を生かした産業の育成と地場産業の経営体質強化に取り組んでおり、今年度は、起業、創業に伴う信用保証料等を軽減するベンチャー・創業支

援資金の融資あっせん、運転資金など多目的に利用可能な一般事業資金等の融資制度、事業所税の納付事業者に助成する経営安定・雇用確保支援事業などさまざまな支援策を講じている。今後も中小企業者への支援を通じて地域経済の活性化に取り組んでいく。

### 青森駅前再開発ビルの会計について

無所属 奈良岡 隆

**問** 青森駅前再開発ビル株式会社の会計について、監査法人から減損処理をするよう指導を受けているとのことだが、内容を示せ。

**答** 減損処理については、営業活動から生ずる損益またはキャッシュフローがおおむね2年間継続してマイナスになった場合、減損損失を認識するか否かの判定を行うものである。同社は前期においてこの判定をしているが、不動産の時価を精査したところ、見積もった将来のキャッシュフローが帳簿価格を上回っていることから、減損損失は認識していない。

### 観光振興について

自由民主党 嶋田 肇

**問** 観光客やビジネス客に対するおもてなしの向上に向けた今後の取り組みを示せ。

**答** おもてなしの向上は今後リーダーを獲得する上で重要な施策であると認識しており、受け入れ態勢の充実やおもてなし意識の向上に取り組むため、新たに青森市観光振興会議を組織した。今後、同会議による研修機会の提供や支援、情報交換をはじめ、観光ガイドの技能向上やすべての市民がおもてなし活動に参加しやすい環境の構築など、効果的な事業展開を進めていくこととしている。

### 農業への雪害対策等について

市民党・市民の会 海老名 鉄芳

**問** 農家に対し、雪害や暴風被害対策への支援内容を迅速かつ十分に周知すべきではないか。

**答** 豪雪等に関する農業救済等については、特にスピード感を持って対応してきたが、それが生産者

に届いていなかったとすれば、広報等の仕方をいま一度工夫する必要があると考える。市は、果樹被災園等及び農業用施設等の復旧事業について、既に農協などへチラシを配布し、相談や受け付けをしており、今後さらに「広報あおもり」などを通じて周知していく。



〈市議会文教経済常任委員会によるリンゴ園視察の様子〉

### リンゴ豪雪被害の救済支援について

日本共産党 天内 慎也

**問** リンゴの豪雪被害に対する平成24年度の救済支援策を示せ。

**答** 4月27日に果樹被災園等復旧対策及び農業用施設等復旧対策に係る補正予算を専決処分しており、このうち、果樹被災園等復旧対策ではリンゴの病害蔓延防止のための薬剤費や枝折れ等の被害を修復するための資材経費の一部を

助成することとしている。今後は、被災果樹園の速やかな復旧等を図るため、苗木購入費の一部を助成することとし、本定例会に補正予算を提案している。

### 災害復旧の体制整備について

日本共産党 藤原 浩平

**問** 今春、雪解け水で用水路が決壊するなどの被害があったが、市では迅速かつ臨機応変な対応がなされていない。農林関係だけでなく市道関係の被害などにも対応できるよう、当初から災害対応に向けた予算を措置し市の担当課が直ちに対応できる体制を整備するべきではないか。

**答** 今回の融雪水による農地、用水路等の被害に対する市の対応は若干おくれた面もあったと反省していることから、今後、予算措置も含め体制を整備していきたい。

### 中央部学校給食共同調理場の利活用について

市民クラブ 上林 英一

**問** 浜田小学校に隣接している中

央部学校給食共同調理場は、平成26年3月で閉鎖する予定であるが、閉鎖後の当該建物を放課後児童会や生涯学習の場として有効活用できないか。

**答** 同調理場の用途廃止後は、現時点では速やかに解体工事に着手し、将来の浜田小学校改築の際に有効活用したいと考えている。しかしながら、浜田小学校の改築時期と同調理場の閉鎖時期に時間的な差がある場合は、放課後児童会等に活用できないか検討したい。

### 生涯学習情報誌の周知について

社民党・市民の会 橋本 尚美

**問** 生涯学習情報誌の配置箇所数と周知方法を示せ。

**答** 市は、講座等の情報を掲載した「生涯学習あおもり」、指導者情報を掲載した「まなびすと名鑑」、サークルなどを紹介した「楽習応援ナビ」の3誌を発行している。これらをより広く活用してもらえるよう「広報あおもり」や市ホームページでお知らせしているほか、市民センター等の市所管施設、市内の県所管施設、小・中学校、高校などの計237カ所に配布し、周知を図っている。

### 社会教育委員の設置について

自由民主党 長谷川 章悦

**問** 本市には現在、社会教育委員が設置されていないが、今後の方性を示せ。

**答** このたび本市生涯学習推進委員会から提言書が提出され、この機会に検討したところ、今後の社会教育、生涯学習活動の推進体制としては、法的根拠を持つて適切に対応できる社会教育委員を設置すべきとの考えに至った。今後議会の意見を聞きながら教育委員会として検討を深め、教育委員会定例会で決定していくが、仮に設置の方針が決定された場合、条例案等を議会に提案することとなる。

### 通学路の安全点検について

公明党 山本 武朝

**問** 安全確保のため、子どもの目線で通学路の総点検が必要だと思いが、その実施状況を示せ。

**答** 各学校では、学校保健安全法



に基づき策定する学校安全計画に、おおよそ月1回の通学路の安全点検を規定し、実施している。点検においては、交通事情に配慮するとともに、児童の多様な行動等を踏まえ、状況に応じて通学路を変更するなど、安全確保に努めている。加えて、安全点検の結果や保護者等からの情報提供をもとに安全マップを作成し、危険箇所等の周知を図っている。

### 武道必修化への取り組みについて

社民党・市民の会 三上 武志

**問** 各中学校の武道必修化への取り組み状況等を示せ。

**答** 平成24年度は、剣道実施が15校、柔道実施が3校、両方実施が2校となっている。教育委員会としては、授業の安全な実施に向け、すべての保健体育科教員に実技を含む研修を実施してきたほか、安全指導のためのガイドラインを配付し、無理のない段階的な指導計画の作成と指導体制の整備を指導していききたい。あわせて実技指導協力者を派遣するため、関係団体との調整等も進めている。



# 特別会 算員 予委

予算特別委員会では、専決処分(一般会計補正予算)1件、補正予算2件(一般会計・競輪事業特別会計)が審査され、専決処分は承認すべきものと決定され、補正予算2件は、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定されました。以下は、同委員会での主な質疑応答をまとめたものです。

自由民主党 中田 靖人

**問** 自治基本条例検討委員会の委員の選任は、公平性、中立性を担保するため、無作為抽出で行うべきと考えるがどうか。

**答** 無作為抽出による選任は、幅広く意見を吸い上げられるメリットがある一方、他の市民参画の手法に比べコストと時間がかかるデメリットがある。無作為抽出という観点では市民意識調査による多くの意見も検討に反映している。委員の選任方法については、自治基本条例検討委員会条例の制定後に、ゼロの状態から検討していきたい。

市民クラブ 奈良 祥孝

**問** 客引き行為等の防止に関する条例制定後、これまで警察によるパトロールや取り締まりは何回行われたのか。

**答** 青森警察署によると、当該回数については今後の捜査に支障が生じるおそれがあるため回答は控

自由民主党 小豆畑 緑

**問** 海抜表示は避難行動にもつながることから、本市でも実施すべきと思うがどうか。

**答** 津波防災地域づくりに関する法律に基づき、県では今年度中に津波浸水想定を設定することとなっており、これを受け本市は被害想定を行う予定である。海抜表示についてはこの被害想定を踏まえ検討していきたい。また、国が行う全国の道路標識柱などへの海抜表示シートの貼付による情報提供などの施策も含め、今後も県の動向を注視していきたい。

社民党・市民の会 仲谷 良子

**問** DV(ドメスティック・バイオレンス)相談支援体制の充実のためには、ワンストップサービスと相談支援センター機能の設置が必要と考えるが、現在行われている男女共同参画プラン策定作業において、どのような検討がされているのか。

**答** 現在はまだ同プラン案の検討段階であるが、配偶者暴力相談支援センター機能の設置を含めたDV相談窓口のワンストップ化に向けた検討は、今後取り組むべき大きな方向の一つと考えている。

社民党・市民の会 三上 武志

**問** 市は避難者や関係団体と主体的に話し合いをし、避難者のケアのために今何をすべきかを適切に把握し、廃止した県外避難者支援室の再設置を前提に、対応に係る方針を検討するべきではないか。

**答** 市は、職員が直接避難者を訪問し、率直な話を聞くことによつて避難者の不安等を把握し、その解消に努めていくことは必要であると考えており、避難者が本市で安心して暮らし、将来に希望が持てるような対応をしていきたいと考えているが、その対応は現行の体制でも可能と考えている。

社民党・市民の会 斎藤 憲雄

**問** ちびっ子広場の管理状況と市の支援状況を示せ。

**答** 同広場の管理は町会等で組織する広場管理会が行っているが、管理責任が明確でない等の課題があるため、市では管理の役割分担等を検討している。現在各管理会に対し調査を実施しているが、既に回答があった27カ所中22カ所の広場管理会では遊具の点検等の維持管理作業を行っている。市は定期巡回の結果等に応じ同管理会では対応困難な場合等に遊具の修繕等を行っているほか、砂場用の砂の提供等の支援を行っている。



〈広場管理会により管理が行われているちびっ子広場〉

市民クラブ 竹山 美虎

**問** その他のプラスチックの収集回数については、今後調査、検証していくとのことだが、その調査結果が出て、改善策が講じられる時期はいつになるのか。

**答** 調査は、分別巡回指導や各収集場所における排出状況の調査等、町会長からの意見聴取、収集運搬業者に対する現状確認などを予定しており、それぞれ一定の期間を要することから改善策を講じる時期は明言できないが、しっかりと検証、準備をし、手続等を踏んだ上で対応していきたい。

市民クラブ 工藤 健

**問** 市が推進している資源物の集団回収の現状と今後の取り組みを示せ。

**答** 平成23年度の実績は、実施団体が259団体、回収量が5千316トン、奨励金は2千126万円であり、平成21年度との比較では実施団体で19団体、回収量が約8%増加している。今年度も引き続き、集団回収未実施町会に対する講習会の開催や意見交換会、町会等で構成される青森市ごみ問題対策市民会議の会報「せいそう」の活用、出前講座の開催等により、事業の啓発と促進を図っていく。



〈廃止後の三内清掃工場〉

市政会 丸野 達夫

**問** 廃止された三内清掃工場の安全対策を示せ。

**答** 同工場内への侵入防止対策として、敷地境界線にバリケードを設置し、建物のすべての入り口を施錠するとともに、1階部分の窓は合板でふさいでいる。市では、侵入防止対策や建物に異常がないか定期的に巡回するとともに、最寄りの三内丸山交番にも巡回を依頼しており、異常や侵入の痕跡を認めた場合は、速やかに調査して侵入防止の強化を図り、事故等の防止に努めていく。

公明党 柴田 久子

**問** 廃止された三内清掃工場の建物は早急に解体すべきと思うが、解体予定と焼却炉及び周辺のダイオキシン類の影響について示せ。

**答** 現在残っている焼却棟、計量棟、管理棟、排水処理棟、車庫、倉庫などの解体費用は約4億円と見込まれるため、現下の厳しい財政状況では、解体は当面困難である。また、大気中のダイオキシン類は、工場内と敷地境界で測定した結果、環境基準値を大幅に下回っていることから、環境への影響はないものと考えている。

日本共産党 天内 慎也

**問** リンゴのカラマツ(不受精)被害の状況を示せ。

**答** つがるや王林は十分に結実が確保されているものの、ふじは少ない状況であり、場所や枝によって結実にばらつきがあることが確認されている。現時点では側花の利用等により全体として結実量は確保できると見ているが、本年は雪解けが遅くリンゴの生育がおくれ気味であることから、今後は果実の肥大促進と大玉生産に向けた品質向上を図るため、摘果作業を早目に行うよう指導していく。

市政会 小倉 尚裕

**問** 第2期中、心市街地活性化基本計画に位置づけられている青森駅舎等の整備は、市役所庁舎の整備も進めなければならないことを考慮すれば、もう一度立ちどまって考えるべきではないか。

**答** 市全体の財政的な見直しを、これまで中期財政計画に含めていなかった青森駅関連や新情報システムなどの事業費を含めて試算し、9月議会までに提示する予定である。その時点での財政見直しや、JR、県などの協議状況や踏まえ、最終的な判断をしなければならぬと考えている。

市政会 渋谷 勲

**問** 除雪業者や市民の意見等を踏まえた今冬の除排雪実施計画策定に向けた見直しを示せ。

**答** 市では現在、2年続いた豪雪での問題点等を検証し、シーズン契約の検証、雪捨て場等の確保、町会・業者・市が一体となった仕組みの構築、豪雪災害対策本部の設置基準等の検証、歩道・通学路の安全確保のためのさらなる検証、パトロール体制の強化及び除雪機械に係る業者の支援策の構築の7つの基本的方向性のもと、今冬に向けた除排雪の見直し作業を鋭意進めている。

市民クラブ 木下 靖

**問** 昨冬の豪雪や4月4日に発生した暴風による農業被害状況の確認方法と豪雪・暴風被害対策事業の周知方法を示せ。

**答** 豪雪被害の確認は、農業者からの情報提供を受け市が行ったほか、青森農業協同組合の協力などにより行い、暴風被害の確認は、災害時対応マニュアルにより市が巡回して行った。同事業の周知は市長の記者会見のほか、支援内容の概要を記載したチラシの同組合等への配布、「広報あおもり」への掲載、閲覧板を利用したチラシの毎戸配布等により行った。

市政会 神山 昌則

**問** ナマコ増殖場造成事業の進捗状況を示せ。

**答** 同事業は、増殖場の造成費用として今年度予算に3千700万円措置されている。これまで関係団体と協議してきた結果、後潟沖及び原別沖にナマコ増殖場を造成することとなり、8月ごろに着手し、年内に完成する予定である。今後は、両増殖場において、モニタリング調査を通じて天然ナマコの発生状況などを検証しながら増殖場の整備を進めるなど、引き続きナマコ資源の維持、増大に取り組んでいきたい。

市民党・市民の会 橋本 尚美

**問** 本市の新たな観光資源として昔ながらの手法によるリンゴ販売やイタコの口寄せを行えないか。

**答** 本市では東北新幹線新青森駅開業を新たなスタートとして、より多くの人から支持される魅力ある観光都市となるよう青森商工会議所等の協力により青森市観光振興会議を設置したところである。本市を訪れた人が本市ならではの魅力的な資源に触れ、体感し、青森ファンとなってもらえるよう、当該提言も踏まえ、今後同会議の中でさまざまな事業展開を検討していく。

日本共産党 葛西 育弘

**問** 除雪機械の購入は困難だが、市からの貸与があれば今後も除排雪を継続したいとしている業者が27社ある。除雪機械を市が今後計画的に購入する予定はあるのか。

**答** 継続的な除排雪体制の構築のためには、除雪機械の調達を業者のみに任せるのではなく、市の危機感を持った対応が必要と考えている。そのために、まずは業者所有の除雪機械の老朽度等を詳しく把握した上で、除排雪事業の予算全体も考慮し、計画的な対応策を構築していきたい。



公明党 渡部 伸広

**問** 青函ワールドが設置、展示される八甲田丸の小・中学生の入場料を平成25年3月まで無料にするとのことだが、平成25年度以降も継続すべきではないか。

**答** 本市では、小・中学校が学校の活動で八甲田丸を利用する場合、関係条例及び利用料減免要綱により、市内のみならず修学旅行等で訪れた県内外の小・中学生の入場料も無料としていることから、来年度以降も当該制度を利用して多くの小・中学生に來場してもらえよう周知していきたい。

**※青函ワールド**…元青函連絡船の羊蹄丸船内において、昭和30年代の青森駅前朝市や青函連絡船乗り場などを再現したテーマパーク。(12ページの写真もご覧ください。)

日本共産党 藤原 浩平

**問** バス路線再編のための社会実験は民間バス事業者等と契約して実施することだが、市営バスのバスカードは使えないのか。

**答** バスカードを読み取る機械の導入には多額の費用を要するため、本年10月から社会実験を実施する3地区5路線で運行するバスには、当該機械を導入しないこと

としている。このため、市営バスのバスカードは利用できないが、これと同様に割安な回数券などを導入して取り組んでいきたいと考えている。

日本共産党 山脇 智

**問** 平和公園の池の水質改善に向けた取り組みを示せ。

**答** 平和公園の池の構造は鉄筋コンクリートのプール状のつくりとなっており、水源は水道水である。平成23年度に原因不明の水位の低下があり、水深を保つために水の補給を行ったところ水質改善にも一定の効果が見られたことから、今後も状況を見ながら一部の水の入れかえを行うとともに、池の浄化作用が期待されるスイレン等の水生植物の植栽を継続し、水質改善に取り組んでいく。



〈平和公園の池 (清掃を行っている様子)〉

自由民主党 大矢 保

**問** 小・中学生の健康診断の検査項目に血液検査を含めるべきと思うがどうか。

**答** 文部科学省では、健康診断の検査項目を大幅に見直す方針を決め、また、厚生労働大臣も、学校での血液検査の実施について前向

## 議員提出議案

当市議会は、議員提出議案7件のうち、規則1件、条例1件、意見書3件を可決しました。以下は、可決された規則、条例及び意見書の要旨をまとめたものです。なお、各意見書はそれぞれ関係機関に提出されます。

### 全会一致で可決された規則

**青森市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について**

一般質問における質問回数制限を撤廃するため改正するもの。

### 全会一致で可決された条例

**青森市中小企業振興基本条例の制定について**

中小企業の振興に関する施策の総合的な推進を図り、本市経済の健全な発展、雇用の創出及び市民生活の安定向上のため、中小企業振興に関する基本理念や施策の基本となる事項を定めるもの。

きに取り組んでいきたいと発言している。教育委員会としては、これまでも国の法令に基づき児童・生徒の健康診断を実施していることから、今後も、国の動向を注視しながら、適切に実施していきたい。

「防災・減災・ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書

資産を拡大すること」等2項目を強く要望する。

### 高度経済成長長期に建築された社会資本は老朽化が進んでいる。よって、政府に対し、国民と日本の国土を守り、安全・安心な社会基盤を再構築するため、道路や橋梁など更新時期が近づいている社会インフラを早急に点検、特定し、維持または更新のための公共投資を積極的かつ集中的に行うことや、電気、ガス、水道、通信などのライフラインの共同溝化、無電柱化を促進し、都市の防災機能の向上を図ること等3項目の実施を強く求める。

### 全会一致で可決された意見書

**基地対策予算の増額等を求める意見書**

基地関係市町村は、長期にわたる景気低迷による地域経済の著しい疲弊や基地所在に伴う特殊な財政需要の増大等により大変厳しい財政状況にある。よって、国においては、基地関係市町村の実情に配慮して「基地交付金及び調整交付金については、平成24年度は固定資産税の『評価がえ』の年度に当たするため、これまで3年ごとに増額されている経緯を十分踏まえ、平成25年度予算において増額するとともに、基地交付金の対象

### 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書

「電気事業者による再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度がスタートするが、導入促進に向けての環境整備は不十分である。よって、政府において、再生可能エネルギーの導入促進と実効性ある買い取り制度に向け、投資促進減

税、省エネ・代替エネルギー減税などの拡充を実施し、再生可能エネルギーの導入を促進すること等3項目を実施し、十分な環境整備を図るよう強く求める。

### 懲罰特別委員会の設置

6月8日の海老名鉄芳議員の一般質問中、地方自治法第132条(無礼の言葉の使用)に違反する発言があったとして、議員8名から、同議員に対する懲罰の動議が提出されました。これにより、懲罰特別委員会が設置され、当該動議が同委員会に付託されました。(同委員会の開催状況については、12ページをご覧ください。)

※懲罰特別委員会：懲罰の動議が提出されたときに自動的に設置され、対象となった議員に懲罰を科すべきか、科すとすればどのような懲罰が妥当かなどを審査する。

#### 懲罰の種類

- ・公開の議場における戒告
- ・公開の議場における陳謝
- ・一定期間の出席停止(原則5日以内)
- ・除名

### 声 議会を傍聴してみ



〈傍聴席から見た議場の様子〉

横にあったほうがよい。市側の出席者の顔や様子は見えるが、議員の様子が見えない。

(佃在住 60代男性)

◎自分が思っていた以上に議員は細かい問題も取り上げ、真剣に取り組んでいるのが印象的だった。

(問屋町在住 10代男性)

◎今まで遠い存在だと思っていた議会が、実際に雰囲気をもつて感じ、とても身近に感じられた。

(横内在住 20代男性)

皆様から寄せられた多くの御意見等から一部を御紹介します。

◎議員の質問に対し、答弁者がきちんと答えていないので理解できない。これでは市民は納得できない。また、他の議員の質問を聞いている議員のマナーが悪い。

(新城在住 30代男性)

◎傍聴席は議場の後方にあるが、

### 表彰

今定例会で、長年市政の振興に努められた次の方々を表彰の伝達が行われました。

■全国市議会議長会表彰

【議員在職10年以上】

- |       |       |       |        |
|-------|-------|-------|--------|
| 秋村 光男 | 小倉 尚裕 | 木下 靖  | 館田 瑠美子 |
|       | 柴田 久子 | 丸野 達夫 | 赤木 長義  |

### 点字版・テープ版

当市議会では、点字版とテープ版の市議会だよりを発行しています。

市内にお住まいで、視覚障害が1級または2級の方に送付いたしますので、ぜひ御利用ください。

御希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。

電話 017-734-5743

### トピックス 議会基本条例検討状況

議会基本条例検討委員会では、現在12名の委員が議会の組織や運営の基本的事項を定める議会基本条例の文案を検討しています。

今回は、条例制定に当たっての基本的な考え方、制定の趣旨を盛り込んだ「前文」(案)を掲載します



そういうことなんだ!

#### 前文(案)

※平成24年5月21日現在の議会基本条例検討委員会の案です。今後も、加除・修正される可能性があります。

地方と国は対等な関係にあり、地方公共団体(以下「自治体」という。)は、これにふさわしい自立した行政を築き上げなければならない。

市長及び議員は、共に直接選挙で選ばれる二元代表であり、その一翼を担う議会には、政策の提言及び立案に係る能力を高め、市民の負託にこたえることが求められている。

そのため、議会及び議員は、自己研鑽に努め、議員間の自由闊達な議論及び市民との対話を通じ、監視と議決の役割及び責任を果たし、さらに情報公開を進めなければならない。

青森市議会は、新たな分権と自治の時代にふさわしい言論と立法の府として、その進むべき方向性を市民に示すため、この条例を制定する。



平成24年第2回定例会 議案・請願・陳情審議結果一覧

| 賛否が分かれた案件                                     | 市議会                  |    | 自由民主党 |    | 社民党・市民の会 |    | 日本共産党 |    | 市民クラブ |    | 公明党 |    | 無所属 |    | 採決結果 |
|---|----------------------|----|-------|----|----------|----|-------|----|-------|----|-----|----|-----|----|------|
|   | 賛成                   | 反対 | 賛成    | 反対 | 賛成       | 反対 | 賛成    | 反対 | 賛成    | 反対 | 賛成  | 反対 | 賛成  | 反対 |      |
| ■平成24年度青森市競輪事業特別会計補正予算(第1号)                   | 10                   |    | 7     |    | 6        |    |       | 6  | 6     |    | 4   |    | 1   |    | 原案可決 |
| ■青森市自治基本条例検討委員会条例の制定について                      | 9<br>遅刻1             |    | 7     |    | 6        |    |       | 6  | 6     |    | 4   |    | 1   |    | 原案可決 |
| ■青森市公共サービス外部化監理委員会条例の制定について                   | 9<br>遅刻1             |    | 7     |    | 6        |    |       | 6  | 6     |    | 4   |    | 1   |    | 原案可決 |
| ■青森競輪経営企画委員会条例の制定について                         | 9<br>遅刻1             |    | 7     |    | 6        |    |       | 6  | 6     |    | 4   |    | 1   |    | 原案可決 |
| ■青森市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 9<br>遅刻1             |    | 6     | 1  | 5        | 1  | 6     |    | 6     |    | 4   |    | 1   |    | 原案可決 |
| ■公の施設の指定管理者の指定について(青森市浪岡交流センター)               | 5<br>2<br>退席2<br>遅刻1 |    | 5     | 2  | 5        | 1  |       | 6  | 6     |    | 4   |    | 1   |    | 原案可決 |
| ■大飯原子力発電所の再稼働決定の見直しを求める意見書                    |                      | 10 |       | 7  | 6        |    | 6     |    |       | 6  | 4   |    | 1   |    | 否決   |
| ■生活保護の老齢加算復活を求める意見書                           |                      | 10 |       | 7  | 5        | 1  | 6     |    | 6     |    |     | 4  |     | 1  | 否決   |

全会一致で原案可決となった案件

|  |  |
|--|--|
| <p>(賛成：40 反対：0)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■平成24年度青森市一般会計補正予算(第2号)※</li> <li>■平成24年度青森市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)※</li> <li>■平成24年度青森市一般会計補正予算(第3号)</li> <li>■青森市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について※</li> <li>■青森市中小企業振興基本条例の制定について</li> <li>■基地対策予算の増額等を求める意見書</li> <li>■「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書</li> <li>■再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書</li> </ul> <p>~~~~~</p> <p>(賛成：39 反対：0 遅刻：1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■青森市合併検証委員会条例の制定について</li> <li>■青森市入札監視委員会条例の制定について</li> <li>■青森市就学指導委員会条例の制定について</li> <li>■青森市看護老人ホーム入所判定委員会条例の制定について</li> <li>■青森市地域コミュニティ・ガイドライン審議会条例の制定について</li> <li>■青森市史編さん委員会条例の制定について</li> <li>■青森市中小企業者等新事業審査会条例の制定について</li> <li>■青森市社会資本整備評価委員会条例の制定について</li> <li>■青森操車場跡地利用計画審議会条例の制定について</li> <li>■青森市地域密着型サービス等運営審議会条例の制定について</li> </ul> | <p>(賛成：39 反対：0 遅刻：1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■青森市小児慢性特定疾患医療審査会条例の制定について</li> <li>■青森市予防接種健康被害調査委員会条例の制定について</li> <li>■青森市第三セクター経営評価委員会条例の制定について</li> <li>■青森市長の調査等の対象となる法人を定める条例の制定について</li> <li>■外国人登録法の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について</li> <li>■青森市特別職の職員の給与に関する条例及び青森市費用弁償条例の一部を改正する条例の制定について</li> <li>■青森市市税条例の一部を改正する条例の制定について</li> <li>■青森市児童福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について</li> <li>■青森市子ども医療費助成条例等の一部を改正する条例の制定について</li> <li>■青森市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について</li> <li>■契約の締結について(青森市立金沢小学校校舎改築工事)</li> <li>■契約の締結について(青森市立金沢小学校校舎改築電気設備工事)</li> <li>■契約の締結について(青森市立金沢小学校校舎改築暖房換気設備工事)</li> <li>■財産の取得について(教育用情報処理機器の購入【青森地区】)</li> </ul> |
|--|--|

全会一致で承認された案件

|  |   |
|--|---|
| <p>(賛成：40 反対：0)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■専決処分の承認について(平成24年度青森市一般会計補正予算(第1号))</li> </ul> | <p>(賛成：39 反対：0 遅刻：1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■専決処分の承認について(青森市市税条例の一部を改正する条例の制定について)</li> </ul> |
|--|---|

全会一致で同意された案件(賛成：40 反対：0)

|  |
|--|
| <p>■財産区管理委員の選任について<br/>         (清水財産区)相馬正敏氏、赤田静夫氏、佐藤隆利氏(横内財産区)千葉秀昭氏(桐沢財産区)野澤敏男氏<br/>         (新城財産区)中村林藏氏、佐藤又八氏(野木財産区)清藤忠氏(野内財産区)蝦名淳一氏<br/>         (浪岡財産区)猪股栄太郎氏、澤谷茂勝氏、工藤勝廣氏、鳥羽強氏、我満正弘氏、工藤孝一氏、須藤毅氏</p> |
|--|

全会一致で採択された案件(採択することに賛成：39 反対：0 遅刻：1)

|  |
|--|
| <p>■青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸の保存に関する陳情(継続審査中のもの)</p> |
|--|

全会一致で継続審査となった案件

|  |  |
|--|--|
| <p>(継続審査に賛成：39 反対：0 遅刻：1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情</li> </ul> | <p>(継続審査に賛成：40 反対：0)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの聴覚検査早期実施に関する陳情</li> </ul> |
|--|--|

※他の議案等より先に開会日に審議し、議決したものを。

※ 賛否が分かれた案件の賛否状況(議員氏名)については、青森市議会ホームページに掲載しています。  
 URL <http://www.city.aomori.aomori.jp/contents/gikaijimukyoku/gikai-giji/>

※ 個別議員の賛否については、お電話でのお問い合わせにも回答させていただきます。

# 委員会の活動

定例会開会中及び閉会中に行われた各常任・特別委員会の状況をお知らせします。

## 総務企画常任委員会

6月13日に開催され、付託された専決処分1件、自治基本条例検討委員会条例など条例案11件、金沢小学校校舎改築工事の契約など契約の締結、財産の取得に関する議案4件が審査され、専決処分は承認すべきものと決定され、その他の案件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決定された。公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正については、委員から、指定管理者候補者選定委員会には、公平、公正の観点からも市職員がかかわるべきではないとの意見が出された。

## 文教経済常任委員会

6月13日に開催され、付託された就学指導委員会条例など条例案4件及び浪岡交流センターの指定管理者の指定に係る議案が審査され、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定された。浪岡交流センターの指定管理者の指定については、さまざまな観点から質疑応答が行われたほか、委員から、

同センターは地域性が強い施設でもあり、地域の歴史や文化を尊重しながら地域と連携していくことは当然だが、民間特有の新しいノウハウや技術等をうまく融合し、地域の活性化等が図られることを望むなどの要望等が出された。

## 都市建設常任委員会

継続審査中であった青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸の保存に関する陳情は、4月20日の委員会では継続審査すべきものと決定されたが、5月21日の委員会では継続審査とすることが否決され、採択すべきものと決定された。

また、6月13日に開催された委員会では、付託された社会資本整備評価委員会条例及び青森操車場跡地利用計画審議会条例の制定について審査され、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定された。

## 民生環境常任委員会

6月13日に開催され、付託された養護老人ホーム入所判定委員会条例など条例案7件及び受動喫煙

防止条例の早期制定を求める陳情が審査され、条例案7件は、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定された。また、同陳情については、受動喫煙対策には異論はないが、当該条例を制定するとなれば、市民生活へ与える影響が大きいため段階的な対応が必要であり現時点での条例化は時期尚早と考えるなどの意見等が出され、継続審査すべきものと決定された。

## 各特別委員会

○交通対策特別委員会：5月2日に開催され、バス交通に関する戦略等について理事者から説明があり、質疑応答が行われた。その中で「支線路線を民間バス事業者に委託する場合、運賃体系はどうなるのか」との質疑に対し、「基本的に現在の市営バスの運賃を踏襲したい」との答弁があった。

○自治基本条例特別委員会：5月23日に開催され、自治基本条例の検討に係るその後の経過等について理事者から説明があり、質疑応答が行われたほか、委員から、条例の内容を検討する段階で、議員の意見を反映させる仕組みづくりを検討されたなどの要望等が出された。

○まちづくり対策特別委員会：5月2日に開催され、青森駅を中心

としたまちづくりやウォータールートの活性化等について理事者から説明があり、質疑応答が行われた。その中で「青函ワールドは部分ごとに分割されているものなのか」との質疑に対し、「いろいろ展示物等があるが、青森駅前朝市の様子の部分を中心に譲り受けたい」との答弁があった。



〈青函ワールド（青森駅前朝市の様子）〉

○雇用観光対策特別委員会：5月22日に開催され、起業・創業等相談ルールの開設や観光振興会議の設立等について理事者から説明があり、質疑応答が行われたほか、委員から、雇用・観光施策の推進には行政以外の視点も必要であることから、外部から人材を登用すべきとの意見等があった。

○懲罰特別委員会：6月13日に開催され、海老名鉄芳議員に対する懲罰の件について審査され、継続審査すべきものと決定された。

## 編集後記

次の定例会はおおむね9月の予定です。港町青森市の歴史、文化を後世に伝えたいというたくさんの思いが、今期定例会、青函ワールド関連予算の可決、そして八甲田丸の保存に関する陳情の採択という形で実を結んだように思います。

本号が皆様に届くころ、これまでに以上に八甲田丸周辺がにぎわっている、そんな風景を思い描きながら、あとがきといたします。

### 議会広報委員会

- 委員長 渡部 伸広
- 副委員長 橋本 尚美
- 委員 山脇 智 奈良 祥孝
- 山本 治男 奈良岡 隆
- 神山 昌則

発行：青森市議会  
編集：議会広報委員会

〒030-8555 青森市中央一丁目22-5  
TEL：017-734-5743 FAX：017-734-5824  
ホームページ  
<http://www.city.aomori.aomori.jp/contents/gikaijimukyoku/gikai-giji/>